令和６年度嘉麻市自殺対策連携協議会 会議録

１．審議会等の名称　嘉麻市自殺対策連携協議会

２．開催日時　　　　令和７年３月６日（木）１６時００分から１６時４０分

３．開催場所　　　　稲築保健センター　３階会議室

４．公開又は非公開　公開

５．非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）

６．出席者

（１）委　員　堂本　和也、小川　史佳、小出　悦子、辻　秀志　、西園　梢、岩﨑　利奈、

立石　研司、末石　宗一郎、松岡　朝生、桒野　良一

　　　　　　　(欠　席)　平塚　宏美、太田　岱次

（２）事務局　　健康課長　堀田 晶、健康推進係長　井口 智美、健康推進係主任　野見山 幸代

７．傍聴人数（会議を公開した場合のみ）　０人

８．議題及び審議の内容

**（１）自殺実態プロファイルのまとめ**

　【事務局】（資料1）に沿って、全国、福岡県、医療圏、嘉麻市の自殺死亡率の推移等説明

　　（質疑なし）

**（２）関係機関の令和6年度の取組について**

　【事務局】第2次嘉麻市自殺対策計画の「自殺対策を推進するための取組」の内容について説明

　　(資料2)に沿って順番に報告

　【健康課】自殺対策を推進していくための連携・ネットワークの強化として、「庁内連携会議」「担当者会議」「連携協議会」がある。

　　　　　健康課の取組としては、国や県が開催する研修会に積極的に参加し、知識や技術を習得するとともに、市民へ必要な情報の周知を図っています。

　　　　　自殺にとらわれず、健康問題に対し、本人、家族、関係機関、関係課からの相談を随時受付、連携をしながら支援を行っています。

　　　　　市民への普及啓発として、ホームページ、広報、デジタルサイネージを活用し行っています。今年度は、9月に相談窓口の一覧を作成し、各世帯に配布しております。

　　　　健康課の事業を通して、自殺のリスク要因があれば減らすような対策を実施しています。

　　　　　こころの電話相談を何回も利用していただいている方については支援が必要であると考えますが、匿名のため次に繋がりにくいことが課題でもあります。

【福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所】

　　　保健所管轄の市町全体の取組として事業計画を立てております。事業計画に沿って、市町

の職員の方への研修や情報提供などを行うとともに、個別の相談事例については、市の保健

師の方と連携し、一緒に支援を行っています。

　　　市の職員の方々にご協力をいただきながら、事業を実施しております。

【嘉麻市社会福祉協議会】

　　資料に掲載されている事業を継続して実施しておりますが、一番上の心配事相談につきま

しては、令和6年度から利用者数もあり中止しています。

　嘉麻市は高齢者が多く、一人暮らしの高齢者の方も多い状態です。家族がいたとしても遠

方で支援が得にくい方もあります。そういったことから、令和6年度から公証人による無料

相談や終活相談を新たな事業として開始しました。

【飯塚地域産業保健センター】

　　　各都道府県に1カ所、産業保健総合支援センター（さんぽセンター）が設置され、産業保

健活動に産業医、保健師、衛生管理者をはじめ、事業主、人事労務担当者などの方々に対し

て、産業保健に関する研修や専門的な相談への支援を行っています。

　　　飯塚地域産業保健センターは、さんぽセンターの業務内容の地域の窓口として位置づけら

　　れ福岡県内に12カ所あります。昨年度は、医師の面接指導を3名の方に実施しております。

　　　今後、労働者数50人未満の小規模事業所にも職員のストレスチェックが義務付けられる方

向で検討されておりますので、そういった対応も今後は検討していく必要があると考えてい

ます。

【嘉麻市商工会】

　　　新型コロナウイルス感染症が５類疾患になり、制限等がなくなることにより、経営が回復

　　してきた事業所もありますが、まだまだ、コロナ禍前の状態まで回復することなく、相談を

されるところもあるのが現状です。

【委員質疑】　かかわるなかで、相談したい方があった場合、一番にどこに相談したらいいのでしょうか？

【事務局】相談内容により、対応していく課や関係機関が異なってはきますので、まずは健康課に相談いただければ、その方の状況に応じて必要なところへつなぎ、連携しながら支援を行って行きます。

**（３）その他**

　【事務局】令和7年度の開催日程は未定ですので、決まりましたらご連絡をさせていただきます。

（会議録確認）

令和　　年　　月　　日

　　嘉麻市自殺対策連携協議会　　会　長　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

　　　　　　　　　　　　　　　　委　員　　　　　　　　　　　　　　　　㊞